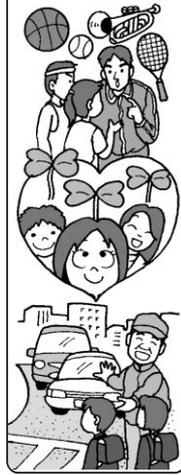


教育



体は一般廃棄物処理の有料化推進を図るべきとの方針が国から示され、全国の自治体で家庭ごみ有料化への関心が高まっている。本市では現在、政令市、中核市等を対象に、有料化の目的、

手数料の体系や水準など、制度設計の在り方について調査中だが、ごみの資源化・減量化に努める人には負担が軽減される制度とすることが必要と考える。

中学校の部活動充実に向けて

問 中学校から、部活動新設のため指導者配置等の要望があった場合の対応は。

答 生徒数や他の部活動の状況、校内の活動スペース等を勘案し、校長が新設の判断を行うが、校内で適任者が得られず、市教育委員会へ人事面での要望があれば、可能な限り努力したい。また、校外から迎えたいという場合は、部活動外部指導者派遣事業により部活動の充実を支援しており、平成17年度は三十五



指導者の充実で活気あふれる部活動 (東山中学校)

校のうち二十一校に三十人の外部指導者を派遣している。

心豊かで自立する

子どもの育成を目指して

問 中学生による事件が相次

ぐ中、人づくり条例(仮称)策定の狙いは。

答 本条例は、子どもたちを取り巻く状況が厳しい時代に、たくましさや協調性を身につけ、心豊かで自立する子どもの育成を目指して、家庭・学校・地域

社会の強い信頼関係の下、全市民が一体となつて、その具現化を促進することを目指すとしている。今後、検討委員会での十分な協議や幅広く多くの意見を聞いて策定したい。

岡山中央小学校の通学路 市民協働で安全確保

問 市中心部に平成17年4月開校した岡山中央小学校の通学路の安全確保は。

答 開校前に、PTA、交通安全対策協議会、交通安全母の会、連合町内会等の参加による通学路検討委員会を組織し、現地を確認し安全な通学路を決定した。また、地域からの強い要望により危険箇所を横断歩道が



誰もが利用しやすい学校園施設へ (平福小学校)

学校園のトイレ バリアフリー化を推進

問 地域開放等で多くの市民が訪れる学校園にバリアフリー化の観点から洋式トイレの設置促進を。

答 校舎棟への洋式トイレ設置のほか、体育館には、洋式便器や手すり、スロープを設けた多目的トイレの設置を進めており、今後もバリアフリー化を推進したい。また、全体配置やスペースの問題もあるが、幼稚園についても、各園の実状に合わせ、男性用としても利用可能な洋式トイレの設置を検討したい。

学校教室内の有害化学物質濃度を測定

問 本市で実施している学校教室内の有害化学物質濃度測定

の実施状況は。

答 平成16年度末までに、小学校十一校、中学校六校で専門業者によるホルムアルデヒドとトルエンの測定を実施した結果、すべての学校で基準値を下回った。17年度は、簡便な測定方法として国から示された機器を購入し、学校薬剤師の指導や協力の下、ホルムアルデヒドの測定未実施の小学校七十七校、中学校二十九校、幼稚園六十八園で7月から順次行っている。

会派委員の異動

無所属市民の会
(新) 副代表 横田 悦子
近藤 昭
(旧) 副代表 横田 悦子

次回本会議のお知らせ

11月定例会は11月28日(月)から12月20日(火)まで開催の予定です。

編集後記

9月定例会では、政令市移行問題など市政各般にわたる重要な課題について論戦が繰り広げられました。市議会だより第三十九号ではこれらの内容についてお伝えします。